

内閣府委託調査

社会的インパクト評価に関する 調査研究

最終報告書

平成 28 年 3 月



三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

目 次

第1章 調査概要	1
I. 調査の背景と目的	1
II. 調査方針	1
III. 調査の具体的な内容	3
1. 実施事項	3
2. 調査スケジュール	4
3. 実施体制	4
4. 用語の整理	5
第2章 文献調査	7
I. 社会的インパクト評価がなぜ必要なのか	7
1. 社会的インパクト評価の実施状況	7
2. 社会的インパクト評価が必要とされている背景	10
2.1 資金の出し手における意識の変化	10
2.2 社会的インパクト投資の潮流	12
2.3 民間非営利組織と企業や行政の協働の流れ	12
II. 社会的インパクト評価とは何か	14
1. 社会的インパクト、社会的インパクト評価の用語の定義	14
2. 社会的インパクト評価の活用方法、社会的インパクト評価による効果	15
2.1 資金の受け手からみた社会的インパクト評価の効果・意義	15
2.2 資金の出し手からみた評価結果の活用方法	21
III. 社会的インパクト評価をどのように行うのか	23
1. 社会的インパクト評価に関する主なガイドラインにおける評価の原則	23
1.1 G8 インパクト評価ガイドライン	23
1.2 EU 社会的インパクト評価ガイドライン	24
1.3 SROI ガイドライン	24
2. 社会的インパクト評価に関する主なガイドラインにおける評価のステップ	26
2.1 G8 インパクト評価ガイドライン	26
2.2 EU 社会的インパクト評価ガイドライン	27
2.3 NPC A Journey to Greater Impact	29
2.4 NPC Four Pillar Approach	30

IV. 社会的インパクト評価の普及に向けた今後の課題.....	31
---------------------------------	----

第3章 国内事例調査 33

I. 調査目的.....	33
--------------	----

II. 調査対象.....	33
---------------	----

III. 調査結果	35
-----------------	----

1. ロジックモデル、セオリー・オブ・チェンジ	35
1.1 ロジックモデルの概要.....	35
1.2 セオリー・オブ・チェンジの概要.....	36
2. ロジックモデル、セオリー・オブ・チェンジの活用メリット	37
3. ロジックモデル、セオリー・オブ・チェンジを活用した評価事例	38
4. ランダム化比較試験（RCT）	52
4.1 RCT の概要.....	52
4.2 RCT 導入のメリット.....	53
4.3 RCT を活用した評価事例.....	54
5. 社会的投資収益率（SROI）	58
5.1 SROI の概要	58
5.2 SROI 導入のメリット	59
5.3 SROI を活用した評価事例	61
6. 国内事例調査から得られた示唆.....	67
6.1 社会的インパクト評価の目的と社会的インパクト評価を実施したことの効果	67
6.2 社会的インパクト評価の実施主体と指標のレベル、評価にかかるコスト	68
6.3 社会的インパクト評価を実施する上での課題と対応策	69

第4章 海外事例調査 73

I. 英国.....	73
------------	----

1. 実施の背景	73
2. 調査について	73
3. 訪問先について	74
4. 事例調査（英国）	77
4.1 Cabinet Office.....	77
4.2 Big Society Capital	84
4.3 New Philanthropy Capital.....	91
4.4 Investing for Good.....	98
4.5 Business in the Community	101

4.6	HCT Group	105
4.7	Pathway.....	112
4.8	IntoUniversity	116
4.9	North London Cares.....	120
5	英国における社会的インパクト評価の状況.....	124
5.1	社会的インパクト評価推進側の取組み状況.....	124
5.2	社会的インパクト評価実践側の取組み状況.....	126
6	英国事例調査のまとめ.....	128
II.	米国	131
1	実施の背景	131
2	調査について	131
3	訪問先について	132
4	事例調査（米国）	135
4.1	Foundation Center.....	135
4.2	Council on Foundation.....	139
4.3	Edna McConnell Clark Foundation	143
4.4	Global Impact Investing Network.....	149
4.5	FSG	154
4.6	Acumen.....	158
4.7	Urban Institute	163
4.8	B Lab	168
4.9	The Third Sector Capital Partners.....	173
4.10	Social Finance US.....	178
5	米国における社会的インパクト評価の状況.....	184
6	米国調査のまとめ.....	187
III.	英米における実践から得られた示唆.....	190
1	エコシステムの存在.....	190
2	我が国への示唆	191
第5章	共助社会づくり懇談会への参画.....	193
I.	実施事項.....	193
II.	実施内容.....	194

